

Market Watching

発表日: 2020年5月11日(月)

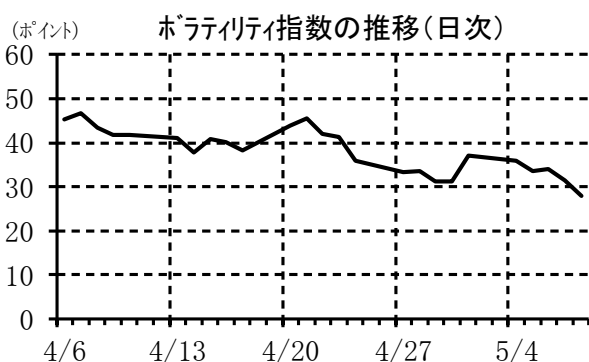
感染は本当にこのまま一旦落ち着いていくのか(マーケットウィークリー)
 ~ 堅調な市場の大前提は感染減少&景気V字回復 ~

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

| 発表日 | 経済指標・会合 | 結果 | コンセンサス | 前回 | 備考 |
|----------|--|---|---|---|---------------------------------------|
| 5月4日(月) | — | | | | |
| 5月5日(火) | 豪州: 金融政策委員会 マレーシア: 金融政策委員会 米国: 貿易収支 (3月) 米国: ISM非製造業景気指数 (4月) | 0.25% 2.00% ▲444 41.8 | 0.25% 2.00% ▲350 41.0 | 0.25% 2.50% ▲399 52.5 | RBA政策金利誘導目標 翌日物政策金利 億ドル ポイント |
| 5月6日(水) | ユーロ: 小売売上高 (3月) 米国: ADP雇用統計 (4月) ブラジル: 金融政策委員会 | ▲11.2% ▲20,236 3.00% | ▲10.9% ▲21,000 3.25% | +0.9% ▲27 3.75% | 前月比 前月差、千人 政策金利 (Selic) |
| 5月7日(木) | 中国: 貿易統計 (3月) ・ 輸出 ・ 輸入 ドイツ: 鉄工業生産 (3月) 英国: 金融政策決定会合 | +3.5% ▲14.2% ▲9.2% 0.10% | ▲8.8% ▲10.2% ▲7.5% 0.10% | ▲6.6% ▲1.0% +0.3% 0.10% | 前年比 前年比 前月比 翌日物貸出金利 |
| 5月8日(金) | 日本: 家計調査 (3月) ・ 全世帯実質消費支出 日本: 毎月勤労統計 (3月) ・ 現金給与総額 米国: 雇用統計 (4月) ・ 非農業就業者数 ・ 失業率 ・ 時間あたり賃金 | ▲6.0% +0.1% ▲20,500 14.7% +7.9% | ▲6.1% +0.1% ▲22,000 16.3% +3.3% | ▲0.3% +1.0% ▲701 4.4% +3.1% | 前年比 前年比 前月差、千人 前年比 |
| 5月9日(土) | — | | | | |
| 5月10日(日) | — | | | | |



主要市場の動向

| | 直近値 | 変化 | | | 移動平均値 | | |
|------------|----------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| | | 1週前比 | 1月前比 | 1年前比 | 25日 | 75日 | 200日 |
| 10年債利回り | | | | | | | |
| 米国 | 0.683 | +7.1 | ▲9.5 | ▲214.0 | 0.209 | 0.663 | 1.242 |
| 日本 | -0.005 | +2.5 | ▲1.5 | +5.0 | -0.011 | -0.032 | -0.093 |
| ドイツ | -0.537 | +4.9 | ▲23.1 | ▲49.3 | -0.448 | -0.460 | -0.432 |
| 豪州 | 0.894 | +2.2 | ▲2.4 | ▲84.0 | 0.886 | 0.914 | 1.027 |
| 株価 | | | | | | | |
| NYダウ | 24331.32 | +2.6 | +3.8 | ▲6.3 | 23708 | 24914 | 26467 |
| 日経平均 | 20179.09 | +2.9 | +4.3 | ▲6.6 | 19511 | 20492 | 21749 |
| ユーロSTOXX50 | 2908.11 | ▲0.7 | +2.0 | ▲14.9 | 2872 | 3135 | 3425 |
| 上海総合 | 2895.34 | +1.2 | +2.8 | +0.1 | 2832 | 2870 | 2921 |
| 為替相場 | | | | | | | |
| ドル/円 | 106.65 | ▲0.2 | ▲2.0 | ▲3.1 | 107.49 | 108.34 | 108.25 |
| ユーロ/円 | 115.46 | ▲1.6 | ▲2.3 | ▲6.3 | 116.82 | 118.57 | 119.38 |
| 豪ドル/円 | 69.66 | +1.5 | +2.7 | ▲9.5 | 68.54 | 69.52 | 72.25 |
| ユーロ/ドル | 1.0839 | ▲1.3 | ▲0.2 | ▲3.1 | 1.087 | 1.095 | 1.103 |
| 商品市況 | | | | | | | |
| WTI | 24.74 | +25.1 | ▲1.4 | ▲60.2 | 17.46 | 32.75 | 47.88 |
| 金 | 1713.9 | +0.8 | +2.9 | +33.8 | 1711 | 1633 | 1551 |

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (5/4~5/8) の金融市場は、欧米での経済活動再開の動きが好感されて株価が底堅く推移した一方、債券は軟調に推移した (金利は上昇)。注目された米雇用統計は統計開始来最大の悪化となるなど、ロックダウン下での経済の急失速を確認する内容となったが、経済活動再開への動きが出ていることから“過去のもの”として扱われ、市場へのネガティブインパクトはなかった。

今週のマーケットは、欧米での経済活動再開への動きに対し、それが“早すぎる緩和”かどうかが問われる局面となりそうだ。十分な感染者の減少が確認されないままに手綱が緩められたり、数週間前から段階的な活動の緩和策がとられる一方で、ここへきて新規感染者の減少に歯止めがかかったり、やや増加に転じている国や地域もみられる。経済への悪影響や一部住民の不満に抗いきれずに手綱を緩めた結果、感染が再拡大の様相を強めた場合、再び規制を強化するかどうかは政府に委ねられる。再び手綱を締めれば、経済回復への期待はしぼむことになり、市場には予想外の展開となる。逆に、感染の再拡大を無視して手綱を緩めたままにしても、感染を恐れた国民は外出を抑制する可能性が高く、期待するようには景気は回復しないだろう。このケースも、年後半の景気のV字回復を期待している市場には期待外れの内容となる。今週は、5/15 (金) に中国の4月分、米国では4~5月分の主要月次指標が発表される。ロックダウン解除に邁進し、V字回復を疑わないなかでは弱い結果も市場は無視できるが、前提となるV字回復に黄信号がともればそうはいかなくなる。改めて、各国の感染動向と対応に注目すべきだろう。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

| 発表日 | 経済指標・会合 | 注目度 | コンセンサス | 前回 | 備考 |
|----------|---|--|---|--|---|
| 5月11日(月) | — | | | | |
| 5月12日(火) | 日本：景気動向指数（3月）・CI一致指数 ・CI先行指数 中国：消費者物価指数（4月） 米国：消費者物価指数（4月）・総合 ・コア | | ▲4.9pt ▲7.4pt +3.7% +0.4% +1.7% | ▲0.2pt +1.0pt +4.3% +1.5% +2.1% | 前月差 前月差 前年比 前年比 前年比 |
| 5月13日(水) | 日本：国際収支統計（3月）・経常収支 日本：景気ウォッチャー調査（4月）・先行き判断DI NZ：金融政策委員会 ユーロ：鉱工業生産（3月） | | +20,342 16.1 0.25% ▲12.0% | +31,688 18.8 0.25% ▲0.1% | 億円、原数値 オフィシャルキャッシュレート 前月比 |
| 5月14日(木) | メキシコ：金融政策決定会合 | ★ | 5.50% | 6.00% | 銀行翌日物金利 |
| 5月15日(金) | 中国：鉱工業生産（4月） 中国：小売売上高（4月） 中国：固定資産投資（4月） ドイツ：実質GDP（1-3月速報値） ユーロ：実質GDP（1-3月改定値） 米国：小売売上高（4月）・全体 ・除自動車 米国：NY連銀製造業景気指数（5月） 米国：鉱工業生産指数（4月） 米国：ミシガン大学消費者信頼感指数（5月速報値） | ★★★★ ★★★★ ★ ★★ ★ ★★★★ ★★★★ ★★★★ ★★★★ ★★★★ | +1.5% ▲5.2% ▲8.5% ▲2.3% ▲3.8% ▲10.7% ▲7.1% ▲64.0 ▲10.3% 67.5 | ▲1.1% ▲15.8% ▲16.1% 0.0% ▲3.8% ▲8.4% ▲4.2% ▲78.0 ▲5.4% 71.8 | 前年比 前年比 年初来前年比 前期比 前期比 前月比 前月比 ポイント 前月比 ポイント |
| 5月16日(土) | — | | | | |
| 5月17日(日) | — | | | | |

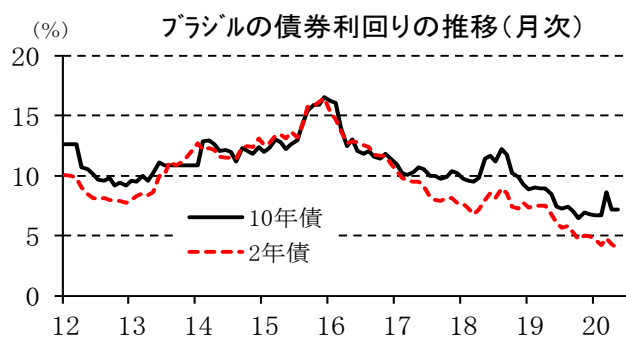
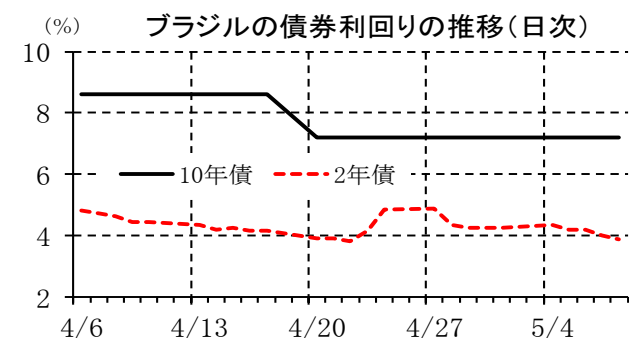
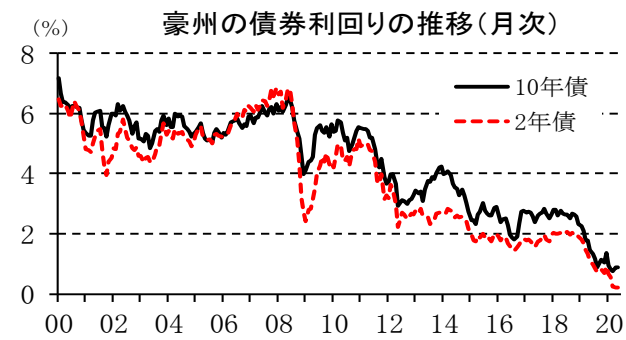
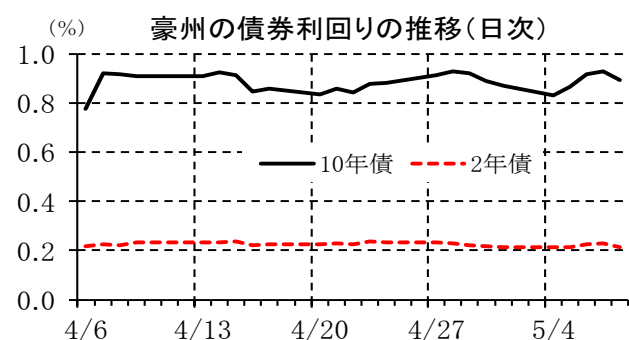
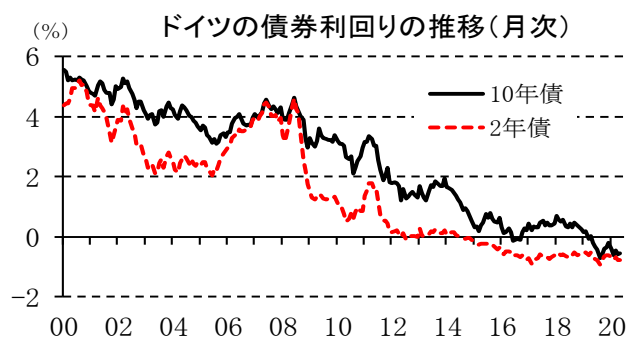
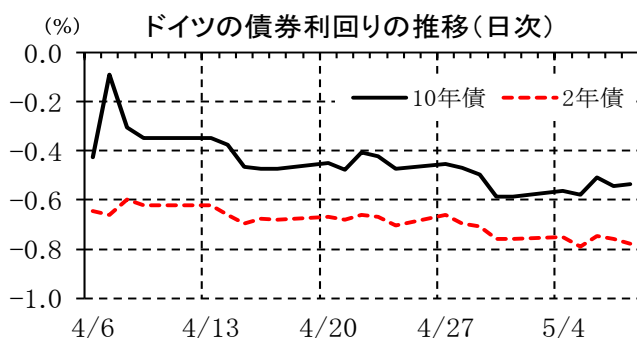
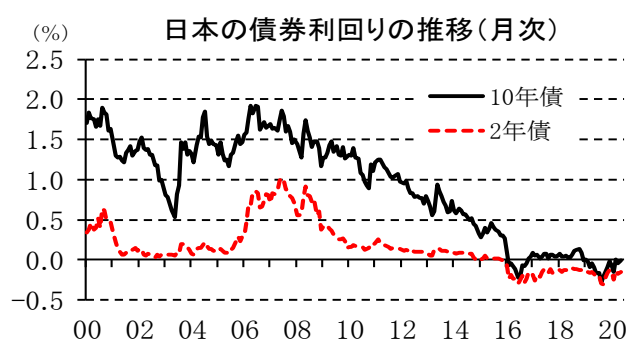
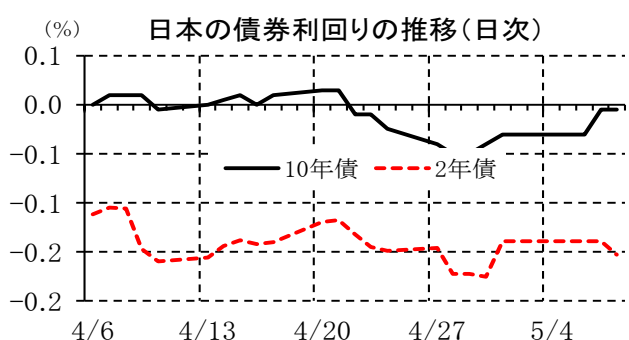
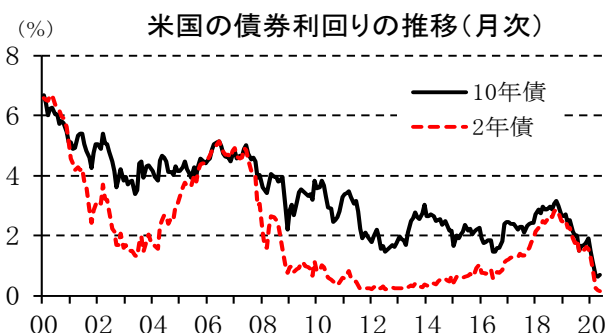
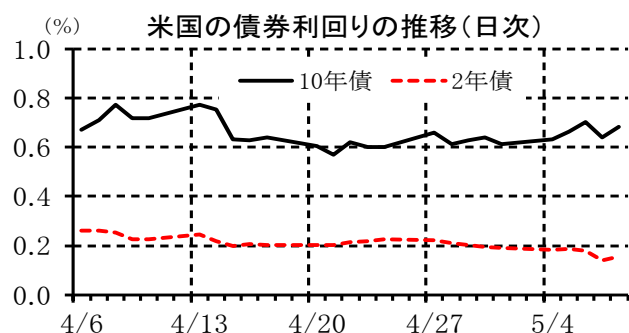
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

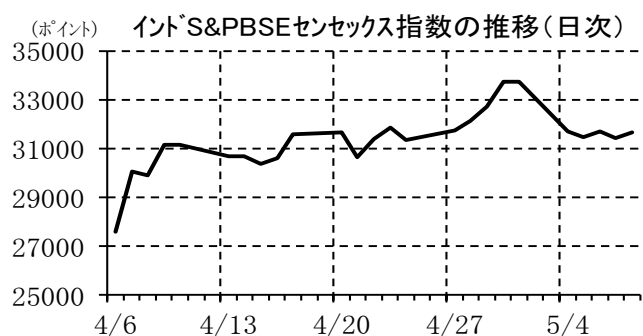
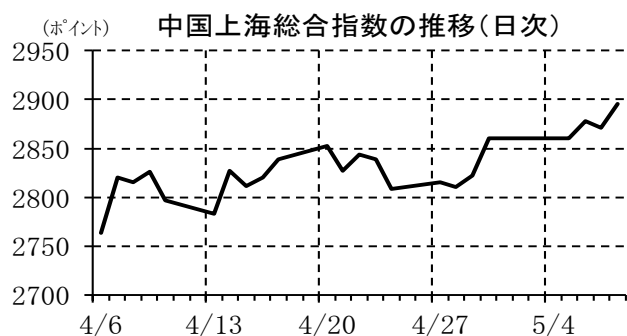
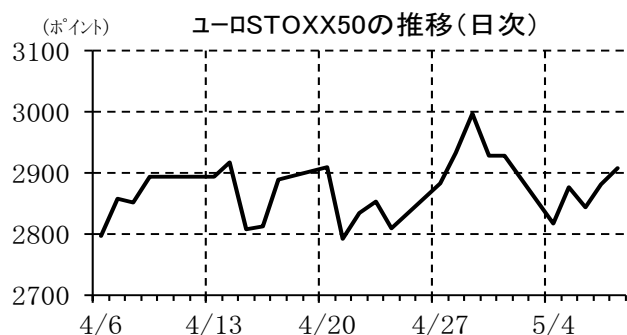
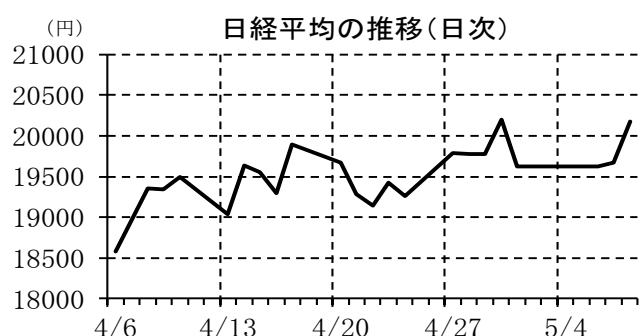
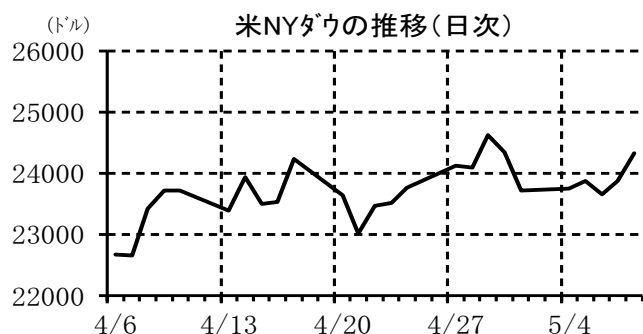
| 発表日 | イベント | 注目度 | 備考 |
|----------|--------------------------|-----|----|
| 5月11日(月) | 日本：日銀金融政策決定会合「主な意見」（4月分） | ★ | |
| 5月12日(火) | — | | |
| 5月13日(水) | — | | |
| 5月14日(木) | 英国：カーネーBOE総裁講演（オンライン） | ★ | |
| 5月15日(金) | — | | |
| 5月16日(土) | — | | |
| 5月17日(日) | — | | |

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

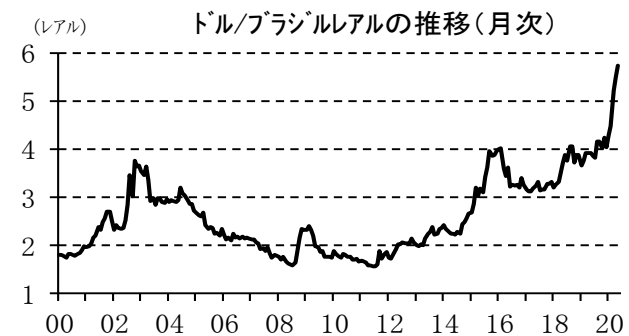
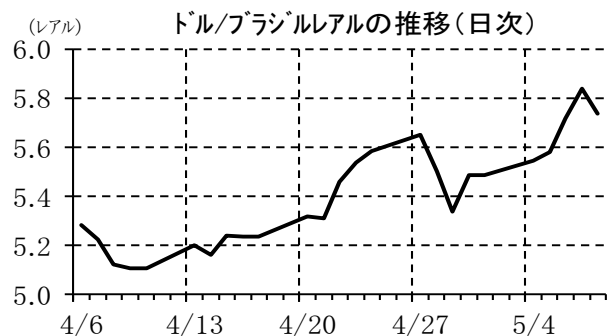
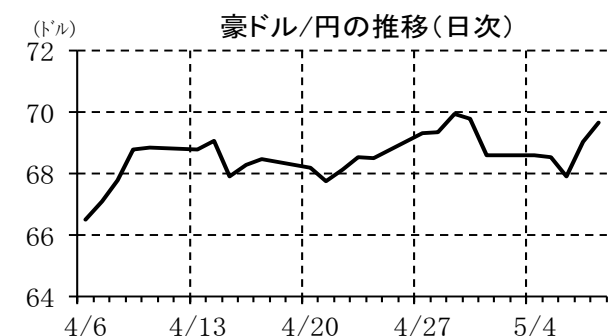
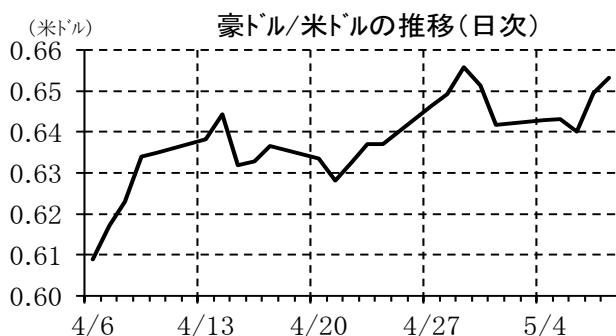
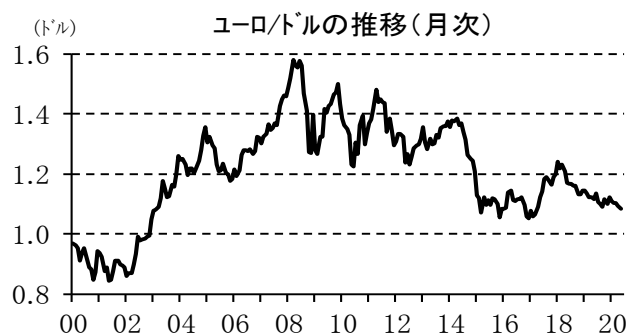
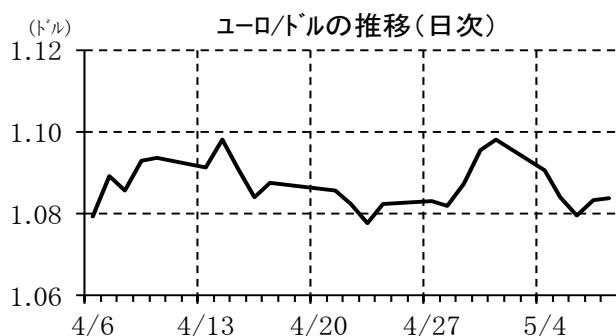
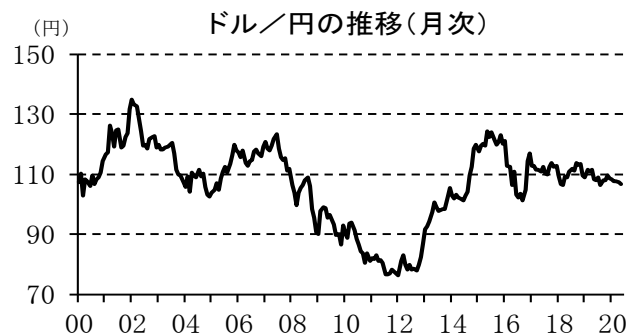
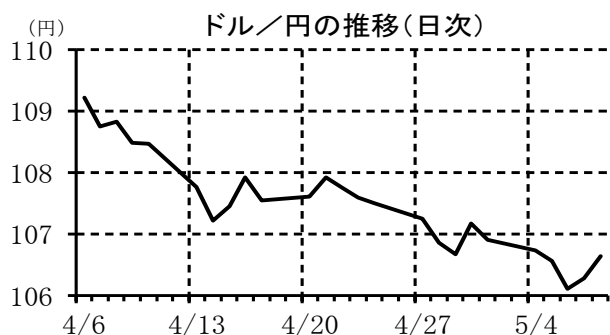
【債券利回り】



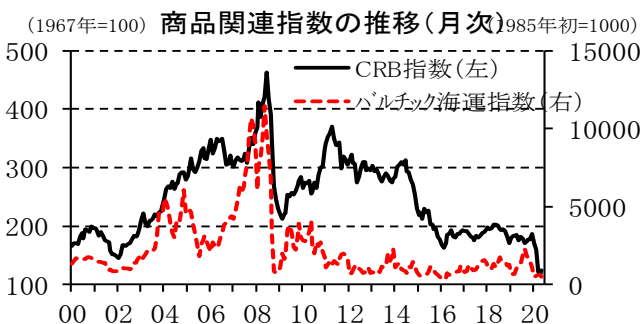
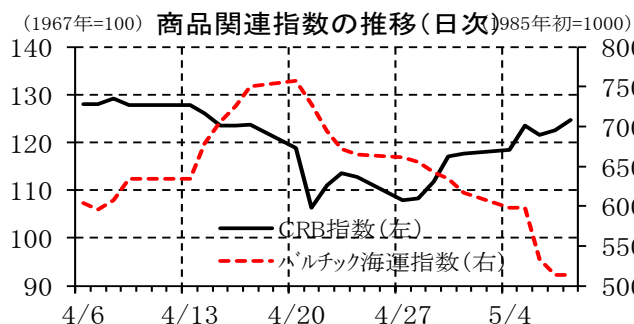
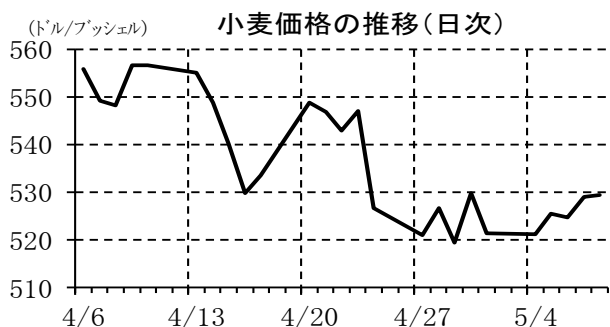
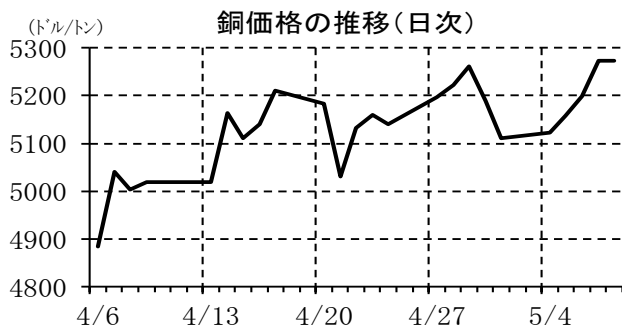
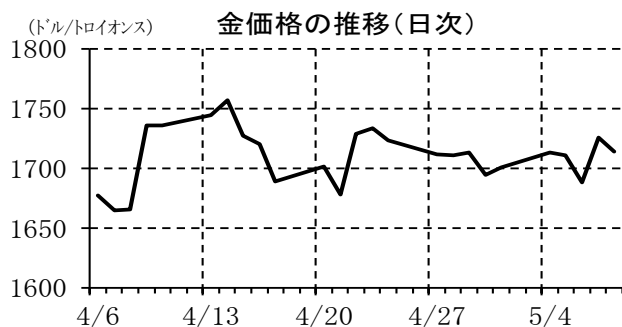
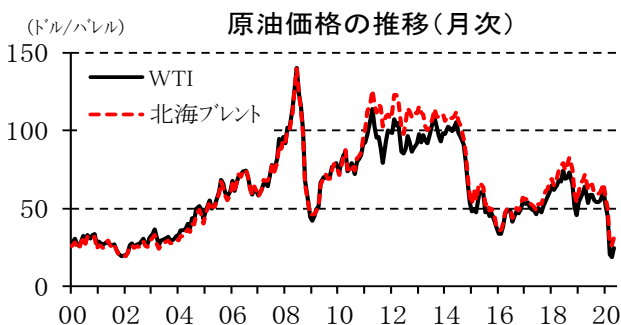
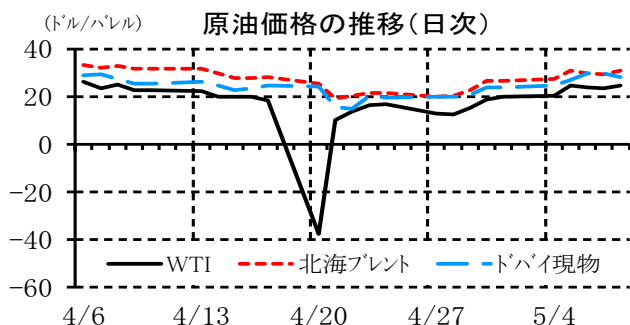
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

